

アート・サーカス・パフォーマンス

くるくるシルク

CRU CRU CIRQUE

PROFILE

くるくるシルク

2000年に、パントマイム劇団汎 Mime 工場のパフォーマー3名の男たちで結成されました。くるくるシルクのシルクとは、フランス語でサーカスの事。くるくるとはくるくるの事。サーカスの本場フランスで巻き起こるヌーヴォ・シルク-Nouveau Cirque (新しいサーカス)に魅せられてこの名が付けられました。3人の個性溢れるキャラクターが、パントマイムやダンスで鍛えた肉体と、ジャグリングなどのサーカス芸を駆使して笑いと感動の舞台を繰り広げます。言葉の無いマイムの肉体とサーカス芸の融合により生み出される、ドラマを持ったコンテンツポラリーな不思議空間をとくとご覧下さい。

“Cru Cru Cirque” (Kuru Kuru Shiruku)

Cru Cru Cirque is organized by three male performers belonging to the pantomime theatre Han Mime Studio. The mimers who are fascinated with circus, composed of various events make harmony of circus techniques, dances and arts to create more artistic performances. In other words, mime's body expression without words creates new techniques and new body by harmony with circus techniques. Unlike showy classic circus, Cru Cru Cirque presents the new contemporary circus atmosphere by dramatic mime's bodies.



Photo © Mori Kohda

奇想天外!! サーカスパフォーマンス



立川真也
Shinya Tatsukawa

藤居克文
Katsunori Fujii

高橋徹
Tohru Takahashi



各種企画

- 舞台公演 (ホール公演・学校鑑賞会)
- ストリート パフォーマンスショー
- ファイヤーバージョン
- クリスマス、お正月バージョン
- ワークショップ講師 (パントマイム、ジャグリング、バルーン)

レパートリ

- パントマイム、人形振り
- ジャグリング (ボール、クラブ、ハット、ティアポロ、シェーカーカップ、皿回し、シガーボックス、ファイヤーーチ)
- 足長 ● 一輪車 (ノーマル、ロング)
- 火吹き ● シャボン玉 ● 綱渡り
- ダンス、タップダンス、アクロバット
- バルーンアート ● ピエロマジック

※上記レパートリーは可能演目ですが、通常の進行に含まれていないもの、組み合わせ不可能なもの、状況などによって制約があるものなども含まれております。詳しくはお問い合わせ下さい。

■主な活動・出演歴

2000年「くるくるシルク」結成 / 2002年東京都ヘブンアーティストライセンス取得
 TV: BS NHK「おかあさんといっしょ」
 (ファミリーコンサート)4年間レギュラー /
 テレビ東京「おはスタ」/NHK「お昼ですよ」
 PV: 安藤優子「HAPPY」
 SC: 海老名ビナウォーク、横浜港南台パース、
 港北東急百貨店、イトーヨーカド幕張店
 美術館: 箱根彫刻の森美術館 /
 川崎ミュージアム / 熱海MOA美術館
 お祭り: アークヒルズ秋祭り
 その他: 豊橋植物公園のんぱいパーク / 六本木
 ヒルズ / 伊勢崎オートシルクカップ
 大道芸フェスティバル:
 静岡大道芸 2010年ワールドカップ部門出場
 ヨコハマ大道芸 / 大須大道芸 / 町田大道芸 /
 舞台公演: 自主公演企画 毎年劇場にて /
 横浜演劇祭 / 北池袋演劇祭 / 下北沢演劇祭
 / 渋谷児童館 / おやこ劇場
 海外公演:
 エジソンパラ / オランダ / ドイツ / ベルギー
 リトアニア / シンガポール / 台湾 / 韓国 / タイ



アート サーカス パフォーマンス

くるくるシルク



ご紹介

2000年に東京の劇団、汎マイム工房の3名の男達で結成されたサーカスパフォーマンス集団です。

サーカスの本場であるフランスで巻き起こった、ヌーボ・シルク（新しいサーカス）のムーブメントに感化されて結成されました。ヌーボシルクは、古典的なサーカスに演劇、ダンス、現代美術、音楽などの新しい表現を加えて、前衛的なサーカスとしてヨーロッパを中心に現代でも広がっています。

日本では、カナダを拠点とするサーカス集団シルク・ド・ソレイユが有名です。

くるくるシルクは、サーカスを表現として、パントマイムやダンスで鍛えた肉体と表現力で、舞台公演や大道芸を行なっています。サーカスに出てくるライオンや象は登場しませんが、ジャグリングの道具を身体に身に付け猛獣に扮して登場したりします。さらに集団で行うジャグリングなどサーカスではお馴染みの芸も登場します。実際のサーカスとはまた違い、パントマイムの表現により、観客がイメージを膨らませながら想像して観ることが出来るサーカスです。

メンバー構成



立川 真也
Shinya Tatsukawa
くるくるシルクリーダー
日本大学芸術学部
美術学科 卒業
汎マイム工房 93~11年
04年文化庁国内研修員
デジタルハリウッド
映像クリエイター卒業



藤居 克文
Katsunori Fujii
日本大学芸術学部
放送学科 中退
汎マイム工房 95~11年



高橋 徹
Tohru Takahashi
愛知県立芸術大学
美術学科 卒業
汎マイム工房 96~11年
平 18文化庁芸術団人材
育成支援事業ソロ公演

主な経歴

劇団汎マイム工房所属（2000年～2011年）※海外公演などが多くなってきたため、さらに活動範囲を広げていくため2012年劇団から独立する。

〈主な受賞歴〉

日テレアート大道芸フェスティバル 優秀アーティスト賞受賞
日テレアート大道芸フェスティバル スペシャルアーティスト賞受賞
東京都ヘブンアーティストライセンス取得
2010年 静岡大道芸ワールドカップ日本代表の1組に選ばれる。

〈文化庁などからの助成公演実績〉

2002年 芸術文化振興基金助成事業公演 「くるくるシルク vol.3」
2003年 芸術文化振興基金助成事業公演 「くるくるシルク vol.4」
文化庁国際芸術交流支援事業公演「星屑のヴォワイヤージュ」
(ヌーボシルクの芸人を招聘しての日仏合作公演)
2005年 芸術文化振興基金助成事業公演 「くるくるシルク vol.5」
2007年 文化庁芸術創造活動重点支援事業公演 「くるくるシルク vol.7」
2009年 文化庁芸術創造活動重点支援事業公演 「くるくるシルク vol.8」
2010年 文化庁芸術創造活動特別推進事業公演 「くるくるシルク vol.9」

加えて、文化庁優れた芸術家派遣事業員として全国の小学校などでパントマイム、ジャグリングのワークショップを行う。

〈海外公演実績〉

2004年 スコットランド エジンバラ フリンジフェスティバル自主参加
2007年 シンガポール フェスティバル「Variate Street Theatre」招待参加
2008年 ドイツ ハノーファー フェスティバル「Little Festival in Great Garden」招待参加
2009年 ベルギー イーベル フェスティバル「De Gevleugelde Stad leper 2010」招待参加
2010年 ヨーロッパツアー ドイツ・リトアニア・オランダ 全6箇所全て招待参加
ドイツ(ハノーファー)→リトアニア(クライペダ)→ドイツ(リュベック)
→ドイツ(パッド・ピアメント)→オランダ(デルキャンフ、デンハム)
2011年 台湾 華山 1914「International Circus Festival 2011」※くるくるシルク DXとして招待参加
2012年 韓国 水華 国際演劇フェスティバル ※くるくるシルク DX 招待参加
2012年 タイ バンコク「Siam street fest 2012」※くるくるシルク DX 招待参加

〈国内での主な公演実績〉

おやこ劇場、子ども劇場、学校芸術鑑賞会、大学学園祭、
市民芸術鑑賞会(財団法人 日本青少年文化センター主催)
松本市市民芸術館主催公演&ワークショップ(財団法人 松本市教育文化振興財団主催)、
釧路芸術館、箱根彫刻の森美術館、川崎市民ミュージアム、熱海 MOA 美術館、
六甲ミーツアーツ 2011
静岡大道芸フェスティバル、ヨコハマ大道芸フェスティバル、札幌だいでん祭、
大須町人祭、千葉大道芸祭、東京都ヘブンアーティストフェスティバル

〈イベント出演〉

展示会、ショッピングセンター、お祭り、TV、PV、コンサートなど
BS「おかあさんといっしょ」ファミリーコンサート 2006年～2009年度まで出演。

